

2020 年度 政策学研究科 履修証明プログラム出願要項

社会人等に対する多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供を促進すべく、平成 19 年の学校教育法改正（第 105 条）により、大学は、一定のまとまりのある学習プログラムを修了した者に対して履修証明書を交付することができるようになりました。

政策学研究科履修証明プログラムは、年に 1 回、第 1 学期（前期）のみ履修者を募集します。
本プログラムの履修は、政策学研究科院生および科目等履修生として履修許可を受けた者に限ります。

科目等履修生として履修を希望する方は、指定された期日に下記の手続きを行ってください。

1. 履修資格	大学卒業者もしくはそれと同等以上の学力があると政策学研究科が認める者
2. 申込期間	2020 年 3 月 23 日（月）・24 日（火）9:00～16:45、 4 月 1 日（水）9:00～16:45、 2 日（木）10:30～16:45、 3 日（金）9:00～16:45 ※ いずれの日も 11:30～12:30 は閉室いたします。 ※ 郵送での受付はいたしません。申込書類は必ずご持参ください。 ※ 3 月 20 日（金・祝）～3 月 31 日（火）は全日申し込みできません。
3. 提出先	政策学部教務課 （お問い合わせ先：075-645-2285 担当：神野）
4. 申込書類	①科目等履修生願書、②政策学研究科履修証明プログラム申込書、③科目等履修生志望理由書、 ④カラー写真 2 枚（願書に貼付）、⑤最終学校の卒業証明書または修了証明書、 ⑥最終学校の成績証明書、⑦科目等履修審査料 10,000 円（深草学舎設置の証明書自動発行機にて、 科目等履修審査料の申込用紙を購入してください）
5. 審査方法	書類審査および面接を実施します。 面接は、4 月 1 日（水）18:00～19:00、2 日（木）9:30～12:30、3 日（金）18:00～19:00 の 3 日間のうち、希望する日時を、申込書類提出の際に政策学部教務課窓口まで申し出てください。
6. 許可発表	2020 年 4 月 7 日（火）9:00 政策学研究科掲示板にて発表
7. 手続き期間	2020 年 4 月 7 日（火）～4 月 13 日（月） 9:00～16:45（火曜日は 10:30～） ※土日は取扱いいたしません。
8. 履修料	●科目等履修許可料 15,000 円＋●科目等履修料 1 単位につき 15,000 円
9. 授業開始	2020 年 4 月 7 日（火）～
10. その他	その他詳細については、「2020 年度 科目等履修生出願要項」に準じます。 ※ 3 月 12 日（木）から、龍谷大学ホームページにて 2020 年度開講科目の Web シラバスをご覧 いただけます。

本履修証明プログラムは、履修を開始した年度によってプログラムの履修科目が変わります。以下を参照にお間違いのないよう御確認ください。

2015 年度から履修している方へ ⇒ P2～4

2014 年度以前から履修している方へ ⇒ P5～7

＜地域公共政策士＞

政策学研究科では、キャリアアップや再チャレンジを目指す現職職業人や大学院生に対し、本研究科修士課程科目を体系的に編成した履修証明プログラムを開講し、「地域公共政策士」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、そして高度の専門的職業人を養成します。詳細は P8 を御参照ください。

政策学研究科では、2015 年度から履修している方向けに、以下のとおり履修証明プログラムを開講します。本プログラムの修了により、履修者は、①龍谷大学が認定する「履修証明」を得るとともに、②「地域公共政策士資格教育プログラム」を修了することとなります。

地域政策形成能力プログラム

地域公共政策士 資格教育プログラム

- ① 目的 : 本プログラムは、地域公共人材に求められる地域政策と地域社会の理論を学び、その動向を実務の視角をもって分析し、実践また実践経験の共有により、地域社会の課題解決をめざす構想を、政策として形成することができる能力を身につけることを目的としています。
- ② 対象 : 本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生、地域政策の現場にあってよりよい政策形成のために理論と実務を架橋する学びにとりくみたい社会人を想定しています。
- ③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）:

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる 地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	地域における複雑な課題群を一般化し、それに対する普遍的な解決策を提示することができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる

④ 地域政策形成能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1 科目 1 ポイント
◎科目群	主として地域政策および地域社会の理論、知識、動向を学ぶ科目	2 科目 4 ポイント
□科目群	主として地域政策の理論、知識、動向、事例を実務の視角をもって学ぶ科目	2 科目 4 ポイント
※科目群	実践または実践の経験を共有する科目	1 科目 2 ポイント
計		11 ポイント

社会人また地域政策の実践経験がない履修者は、※科目群のうちインターンシップ科目を選択することを推奨します。

⑤ 2020 年度 地域政策形成能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 ポイント、◎から 4 ポイント、□から 4 ポイント、※から 2 ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	公共政策学研究	2 ポイント	前期(隔週)	月 6・7	今里 佳奈子
	都市政策研究<※2020 年度新規開講>	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	服部 圭郎
	財政学・地方財政学研究	2 ポイント	後期(隔週)	金 6・7	只友 景士
	地域政策研究	2 ポイント	2020 年度不開講		
	都市計画研究	2 ポイント	前期(隔週)	火 4・5	阿部 大輔
	農村政策研究	2 ポイント	前期	木 3	大石 尚子
□	地方行政実務演習	2 ポイント	2020 年度不開講		
	非営利組織研究	2 ポイント	前期(隔週)	水 6・7	深尾 昌峰
	まちづくりとコミュニティ研究	2 ポイント	後期(隔週)	土 1・2	井上 芳恵
	まちづくりと法研究	2 ポイント	後期	火 3	大田 直史
※	地域リーダーシップ研究	2 ポイント	通年	随時	北川 秀樹
	先進的地域政策研究	2 ポイント	通年	随時	土山 希美枝
	協働ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	三木 俊和
	実践インターンシップ	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝

〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 地域公共政策士 資格教育プログラム

- ① 目的 : 本プログラムは、地域公共人材に求められる〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景や必要性などの理解を含めた理論を学び、対話・議論により他者と関係性を構築し、理解や共有しうる何かなどを引き出していく技術を得て、実践において、地域社会の変革や政策課題の解決につながる人々の連携・協力を形成しうる能力の基盤を形成することを目的としています。
- ② 対象 : 本プログラムの対象は、多様な主体との連携・協力関係を構築し、地域政策を進める能力の基盤を身につけたい地域政策の実践にかかわる社会人、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生を想定しています。

③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）:

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる 地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	実務におけるリーダーとして業務の発展と組織の改革に取り組むとともに、構成員を組織的に活用することができる 課題の解決のために必要な社会的資源を必要に応じて再構成することができる

④ 〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1 科目 1 ポイント
◎科目群	主として〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景となる地域社会および地域政策をめぐる今日的理論、知識、動向を学ぶ科目	3 科目 6 ポイント
□科目群	多様な主体との議論による政策形成の実践科目	1 科目 2 ポイント
※科目群	多様な主体との対話・議論をすすめる促進者（ファシリテータ）としての能力を学ぶ実践科目	1 科目 2 ポイント
計		11 ポイント

⑤ 2020 年度 〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 ポイント、◎から 6 ポイント、□から 2 ポイント、※から 2 ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働研究	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	的場 信敬
	コミュニティメディア研究	2 ポイント	前期(隔週)	木 6・7	松浦 さと子
	まちづくりとコミュニティ研究	2 ポイント	後期(隔週)	土 1・2	井上 芳恵
	公共政策学研究	2 ポイント	前期(隔週)	月 6・7	今里 佳奈子
	先進的自治体研究	2 ポイント	前期(隔週)	土 1・2	土山 希美枝
□	協働ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	三木 俊和
	実践インターンシップ	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝
※	コミュニケーション・ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	村田 和代

環境まちづくり能力プログラム 地域公共政策士 資格教育プログラム

- ① 目的 : 本プログラムは、持続可能な地域社会づくりに求められる政策や要件等について理論的知識を修得し、その考え方や経緯、自治体環境政策を中心に事例を調査・分析・研究し評価する能力、実践における政策立案能力および活動能力を修得することを目的としています。
- ② 対象 : 本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に環境問題にとりくむことをめざす就業前大学院生、環境問題にとりくむ自らの職務を理論またより広い視野をえることでその能力を向上させたい職業人を想定しています。
- ③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）:

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会における様々な課題に対応するために必要な知識・技能・実践方法に習熟するとともに、それらが地域社会に与える影響を適切に判断することができる	様々な理論・政策・情報を組み合わせた客観的な分析と評価による既存の概念の修正を理解することができる 持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	問題の解決に必要な様々な方策や技術及び知見を特定するとともに、それらを組み合わせ、最適化し、実践することができる 対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる

④ 環境まちづくり能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1 科目 1 ポイント
◎科目群	主として持続可能な地域社会づくりや自治体環境政策の理論、知識、動向を、事例をふまえて学ぶ科目	2 科目 4 ポイント
□科目群	地域や自治体の環境課題および政策の分析・研究を通じた政策立案やその実践を学ぶ科目	2 科目 4 ポイント
※科目群	実践または実践の経験を共有する科目	1 科目 2 ポイント
計		11 ポイント

⑤ 2020 年度 環境まちづくり能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 ポイント、◎から 4 ポイント、□から 4 ポイント、※から 2 ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働研究	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	的場 信敬
	都市政策研究<※2020 年度新規開講>	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	服部 圭郎
	地域エネルギー政策研究	2 ポイント	前期(隔週)	木 6・7	小川 祐貴
	都市計画研究	2 ポイント	前期(隔週)	火 4・5	阿部 大輔
□	環境政策研究	2 ポイント	後期(隔週)	水 6・7	北川 秀樹
	環境学研究	2 ポイント	前期	金 2	大島 堅一
	環境課題分析研究	2 ポイント	後期(隔週)	月 6・7	木原 浩貴
	環境社会学研究	2 ポイント	後期	木 3	清水 万由子
	地域再生可能エネルギー実装演習	2 ポイント	後期(隔週)	木 6・7	田浦 健朗
※	協働ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	三木 俊和
	実践インターンシップ	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝

政策学研究科では、2014 年度以前から履修している方向けに、以下のとおり履修証明プログラムを開講します。本プログラムの修了により、履修者は、①龍谷大学が認定する「履修証明」を得るとともに、②「地域公共政策士第 2 種プログラム」を修了することとなります。

地域政策形成能力プログラム

地域公共政策士 第 2 種プログラム（修士レベル）

- ① 目的：本プログラムは、地域公共人材に求められる地域政策と地域社会の理論を学び、その動向を実務の視角をもって分析し、実践また実践経験の共有により、地域社会の課題解決をめざす構想を、政策として形成することができる能力を身につけることを目的としています。
- ② 対象：本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生、地域政策の現場にあってよりよい政策形成のために理論と実務を架橋する学びにとりくみたい社会人を想定しています。
- ③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）：

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	地域における複雑な課題群を一般化し、それに対する普遍的な解決策を提示することができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる
地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる			

④ 地域政策形成能力プログラム 修了要件

科目群	必要ポイント
必修	「地域公共人材特別研究(地域政策形成能力プログラム)」
◎科目群	主として地域政策および地域社会の理論、知識、動向を学ぶ科目
□科目群	主として地域政策の理論、知識、動向、事例を実務の視角をもって学ぶ科目
※科目群	実践または実践の経験を共有する科目
計	6 科目 11 ポイント

社会人また地域政策の実践経験がない履修者は、※科目群のうちインターンシップ科目を選択することを推奨します。

⑤ 2020 年度 地域政策形成能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 科目、◎から 2 科目、□から 2 科目、※から 1 科目選択 計 6 科目（11 ポイント）

科 目 名		ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別研究(地域政策形成能力プログラム)	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	公共政策論研究	2 ポイント	前期(隔週)	月 6・7	今里 佳奈子
	都市政策研究<※2020 年度新規開講>	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	服部 圭郎
	財政学・地方財政論研究	2 ポイント	後期(隔週)	金 6・7	只友 景士
	地域経済政策論研究	2 ポイント	2020 年度不開講		
□	地域公共政策実務論研究	2 ポイント	2020 年度不開講		
	地方行政実務研究Ⅰ	2 ポイント	2020 年度不開講		
	非営利組織管理論研究	2 ポイント	前期(隔週)	月 6・7	野池 雅人
	まちづくり論研究	2 ポイント	後期(隔週)	土 1・2	井上 芳恵
※	地域リーダーシップ研究	2 ポイント	通年	随時	北川 秀樹
	先進的地域政策研究	2 ポイント	通年	随時	土山 希美枝
	NPOインターンシップA	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝
	NPOインターンシップB	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝
	行政インターンシップA	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝
	行政インターンシップB	2 ポイント	通年	集中	土山 希美枝

※2010 年度に実施した「地域政策形成能力プログラム」を一部改訂・編成しました。

<つなぎ・ひきだす>対話議論能力プログラム

地域公共政策士 第 2 種プログラム（修士レベル）

- ① 目 的 : 本プログラムは、地域公共人材に求められる〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景や必要性などの理解を含めた理論を学び、対話・議論により他者と関係性を構築し、理解や共有しうる何かなどを引き出していく技術を得て、実践において、地域社会の変革や政策課題の解決につながる人々の連携・協力を形成しうる能力の基盤を形成することを目的としています。
- ② 対 象 : 本プログラムの対象は、多様な主体との連携・協力関係を構築し、地域政策を進める能力の基盤を身につけたい地域政策の実践にかかわる社会人、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生を想定しています。
- ③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）:

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	実務におけるリーダーとして業務の発展と組織の改革に取り組むとともに、構成員を組織的に活用することができる
地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる			課題の解決のために必要な社会的資源を必要に応じて再構成することができる

④ <つなぎ・ひきだす>対話議論能力プログラム 修了要件

科 目 群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別研究（〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム）」	1 科目 1 ポイント
◎科目群	主として〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景となる地域社会および地域政策をめぐる今日的理論、知識、動向を学ぶ科目	3 科目 6 ポイント
□科目群	多様な主体との議論による政策形成の実践科目	1 科目 2 ポイント
※科目群	多様な主体との対話・議論をすすめる促進者（ファシリテータ）としての能力を学ぶ実践科目	1 科目 2 ポイント
計		6 科目 11 ポイント

⑤ 2020 年度 <つなぎ・ひきだす>対話議論能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 科目、◎から 3 科目、□から 1 科目、※から 1 科目選択 計 6 科目（11 ポイント）

	科 目 名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別研究（〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム）	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働論研究	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	的場 信敬
	地域メディア論研究	2 ポイント	前期(隔週)	木 6・7	松浦 さと子
	まちづくり論研究	2 ポイント	後期(隔週)	土 1・2	井上 芳恵
	市民自治論研究	2 ポイント	前期(隔週)	土 1・2	土山 希美枝
□	協働ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	三木 俊和
※	コミュニケーション・ワークショップ実践演習	2 ポイント	前期	随時	村田 和代

※2010 年度に実施した「協働型〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム」を一部改訂・編成しました。

環境まちづくり能力プログラム

地域公共政策士 第2種プログラム（修士レベル）

① 目的：本プログラムは、持続可能な地域社会づくりに求められる政策や要件等について理論的知識を修得し、その考え方や経緯、自治体環境政策を中心に事例を調査・分析・研究し評価する能力、実践における政策立案能力および活動能力を修得することを目的としています。

② 対象：本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に環境問題にとりくむことをめざす就業前大学院生、環境問題にとりくむ自らの職務を理論またより広い視野をえることでその能力を向上させたい職業人を想定しています。

③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）：

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会における様々な課題に対応するために必要な知識・技能・実践方法に習熟するとともに、それらが地域社会に与える影響を適切に判断することができる	様々な理論・政策・情報を組み合わせた客観的な分析と評価による既存の概念の修正を理解することができる 持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	問題の解決に必要な様々な方策や技術及び知見を特定するとともに、それらを組み合わせ、最適化し、実践することができる 対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる

④ 環境まちづくり能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別研究（環境まちづくり能力プログラム）」	1 科目 1 ポイント
◎科目群	主として持続可能な地域社会づくりや自治体環境政策の理論、知識、動向を、事例をふまえて学ぶ科目	1 科目 2 ポイント
□科目群	地域や自治体の環境課題および政策の分析・研究を通じた政策立案やその実践を学ぶ科目	4 科目 8 ポイント
計		6 科目 11 ポイント

⑤ 2020 年度 環境まちづくり能力プログラム 開講科目一覧

必修 1 科目、◎から 1 科目、□から 4 科目選択 計 6 科目（11 ポイント）

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別研究(環境まちづくり能力プログラム)	1 ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働論研究	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	的場 信敬
	都市政策研究<※2020 年度新規開講>	2 ポイント	後期(隔週)	火 6・7	服部 圭郎
	地域適正技術戦略論研究	2 ポイント	前期(隔週)	木 6・7	小川 祐貴
□	地域公共人材特別研究(環境自治体研究)	2 ポイント	後期(隔週)	水 6・7	北川 秀樹
	地域公共人材特別研究(環境課題分析)	2 ポイント	後期(隔週)	月 6・7	木原 浩貴
	地域公共人材特別研究(環境の仕事)	2 ポイント	前期	木 1	井上 和彦・下村 委津子
	自治体評価指標研究	2 ポイント	2020 年度不開講		
	環境管理シミュレータ演習	2 ポイント	後期(隔週)	木 6・7	田浦 健朗

※2010 年度に実施した「環境自治体ガバナンス改革能力プログラム」を一部改訂・編成しました。

地域公共政策士とは？

2011 年度からスタートした京都発の地域資格です。

地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するカリキュラムを履修し、所定のポイントを取得すれば、認定機関である（財）地域公共人材開発機構から「地域公共政策士」資格が付与されます。この資格に関するプログラムは、京都の 5 大学で実施されています。

→→→→ 地域公共政策士の特徴 ←←←←

1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかはっきり「見える」こと
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもあること
3. 各大学のプログラムを組み合わせることで、画一的でない、特色ある能力を取得できること
4. EU の教育・職能資格で用いられる EQF※レベルを参照していること

※European Qualifications Framework の略

詳細については、（財）地域公共人材開発機構の HP <http://www.colpu.org> をご覧ください。

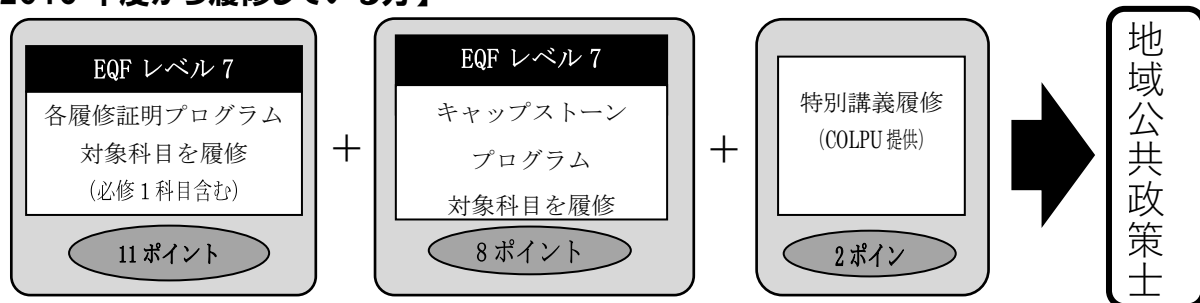
資格の申請には、履修証明プログラムを 1 つ以上、キャップストーンプログラム、特別講義（COLPU 提供）を修了する必要があります。

キャップストーンプログラム科目は、現地調査等の活動をチームで実施し、現実の問題に対して提言を行います。合計 8 ポイントの修得が修了要件となります。開講科目については「履修証明プログラム・キャップストーンプログラム申込書」を御参照ください。

「特別講義（COLPU 提供）」の受講および「地域公共政策士」資格の認定にあたり、別途受講料 30,000 円と資格認定料 12,000 円を（財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ支払う必要がありますのでご注意ください。

履修を開始した年度によってプログラムの履修科目が変わります。以下を参照にお間違いのないよう御確認ください。

【2015 年度から履修している方】



※各履修証明プログラム対象科目を履修しながら、キャップストーンプログラム科目を並行して履修することが可能です。

【2014 年度以前から履修している方】

